

日没後避難安全に

日光などを吸収して暗闇で発光する蓄光塗料の普及を進める高輝度蓄光塗料推進協会(盛岡市、佐々木謙一会長)は、東日本大震災で大きな被害を受けた山田町の津波避難階段への蓄光塗料を使った塗装施工などを無償で行った。東日本大震災当時、陸前高田市に住んでいた佐々木会長(57)は津波で妻の美公さん=当時(47)=を亡くした。「犠牲者を出してはいけない」との思いを胸に県内の業者らと新しい蓄光塗料を開発し、減災に役立てようと取り組んでいる。

盛岡の高輝度蓄光塗料推進協会

同協会の会員4人は15日、町役場での贈呈式に出席。佐々木会長から目録を受け取った佐藤信逸町長は「蓄光塗料により、暗闇でも足元をしっかりと確保できる。町民を代表してお礼申し上げる」と述べた。

同協会は、災害避難所に指定されている町中央公民館に隣接する同町八幡町のいきいき公園東側の津波避難階段に無償で施工。高台に通じる階段の段差の縁が日没後も見やすくなった。誘導標識も寄贈した。

使用した「RM蓄光塗料」は県内の蓄光顔料メーカーや塗装業者らが協力して昨年8月に完成。輝度と耐候性が高く、コンクリートなどに直

接塗布できる。既に介護施設の非常用スロープなどへの施工実績があり、今後は道路やヘリポートへの応用も期待される。

開発に関わった元県工業技術センター研究員の穴沢靖・同協会事務局長は「従来の蓄光塗料では明るさが足りず、屋外の耐久性にも課題があった。県内の業者の技術を出し合い、施工の技法まで確立できた」と胸を張る。

佐々木会長が社長を務める大田中塗装店(一関市千厩町)では震災後から美公さんの名前にちなんだ撥水コート「美輝」を商品化するなど積極的に技術開発に取り組んできた。

佐々木会長は「震災直後は停電で街が全て真っ暗だった。自然のエネルギーを生かして避難時の二次災害を防ぐため、全国に広めていきたい」と力を込める。

(佐藤渉)

from
3.11

東日本大震災10年

山田の階段発光塗装

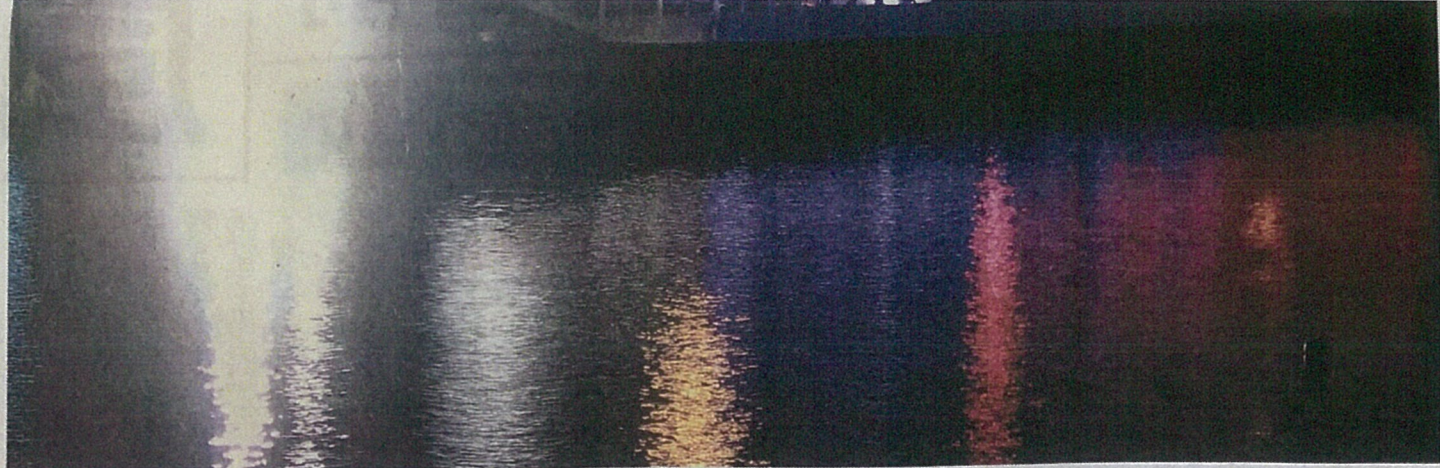
「犠牲一度と」思い込め



蓄光塗装を施した誘導標識と避難階段。日光を吸収して光り、日没後も階段の位置が分かる(高輝度蓄光塗料推進協会提供)



RM蓄光塗装の紹介パネルを佐藤信逸町長と一緒に手にする佐々木謙一会長(右から2人目)と関係者



ライトアップされた浄土ヶ浜の遊覧船

大船渡の三陸鉄道・恋し浜駅

ハートは桃色

モニユメントに蓄光塗料

あすへ

東日本大震災

恋愛成就や縁結びのパワースポットとして注目されている大船渡市の三陸鉄道恋し浜駅の近くにあるハート形モニユメントが桃色に着色され、現地では26日、お披露目された。塗料には蓄光物質が含まれ、夜はハートが青白く光って見える。小石浜地区は東日本大震災で大きな被害を受けたが、多くの漁業者が養殖を再開している。光るモニユメントは新たな観光スポットとして注目を集めそう

だ。ハートは縦8センチ、横7センチほどで駅南側にある。2017年3月に近くの岩手県道に新たなトンネルを造った際、駅名にちなんでのり面に設置された。これまでは灰色で、日が暮れると見ることはできなかった。地元の漁業者が夜でも養



殖いかだの場所が分かるように浮き球に蓄光塗料を施したことが縁で、県内の塗料や塗装の業者、研究者らでつくる高輝度蓄光塗料推進協会（一関市）が着色を買って出た。

26日は駅で寄贈式があり、協会や市、三鉄の関係

恋し浜駅のホームから見えるハート（上）。特殊な塗料で桃色に塗り替えられた。者らが出席。三鉄の臨時列車が到着すると、乗客と一緒に桃色のハートを見上げた。協会の佐々木謙一会長は「恋愛成就を願う人の一翼が担えればいい」と話した。

ホッキョクグマ 赤ちゃん誕生

男鹿市の男鹿水族館GAOで26日、ホッキョクグマの赤ちゃんが誕生した。同館でホッキョクグマの赤ちゃんが生まれるのは2012年12月以来で2回目。

両親は雄の豪太（17）と雌のユキ（21）。26日朝に職員が赤ちゃんの泣き声を聞き、出産を確認した。産室のモニタ―録画を確認したところ、同日午前1時半ごろ、ユキが赤ちゃん1匹をくわえていた。性別は分かっていない。ユキは19年、繁殖のため兵庫県姫路市立動物園から嫁入りした。赤ちゃんの成育が落ち着き次第、名称を公募する予定。一般公開の時期は決まっていない。

佐竹敬久秋田県知事は「うれしく思うと同時にほっとした。赤ちゃんが無事に育つことを願うとともに、GAOが県民に喜んでもらえる施設になることを期待する」とのコメンツを発表した。

花巻市 ふるさと納税急増

恋し浜駅は09年、地名が由来の「小石浜駅」から改名。地元産ホタテの貝殻にメッセージを書いた「ホタテ絵馬」を駅に飾れることが人気を集めた。

福島などの高校生平和大使
国連幹部と交流
オンラインで活動紹介

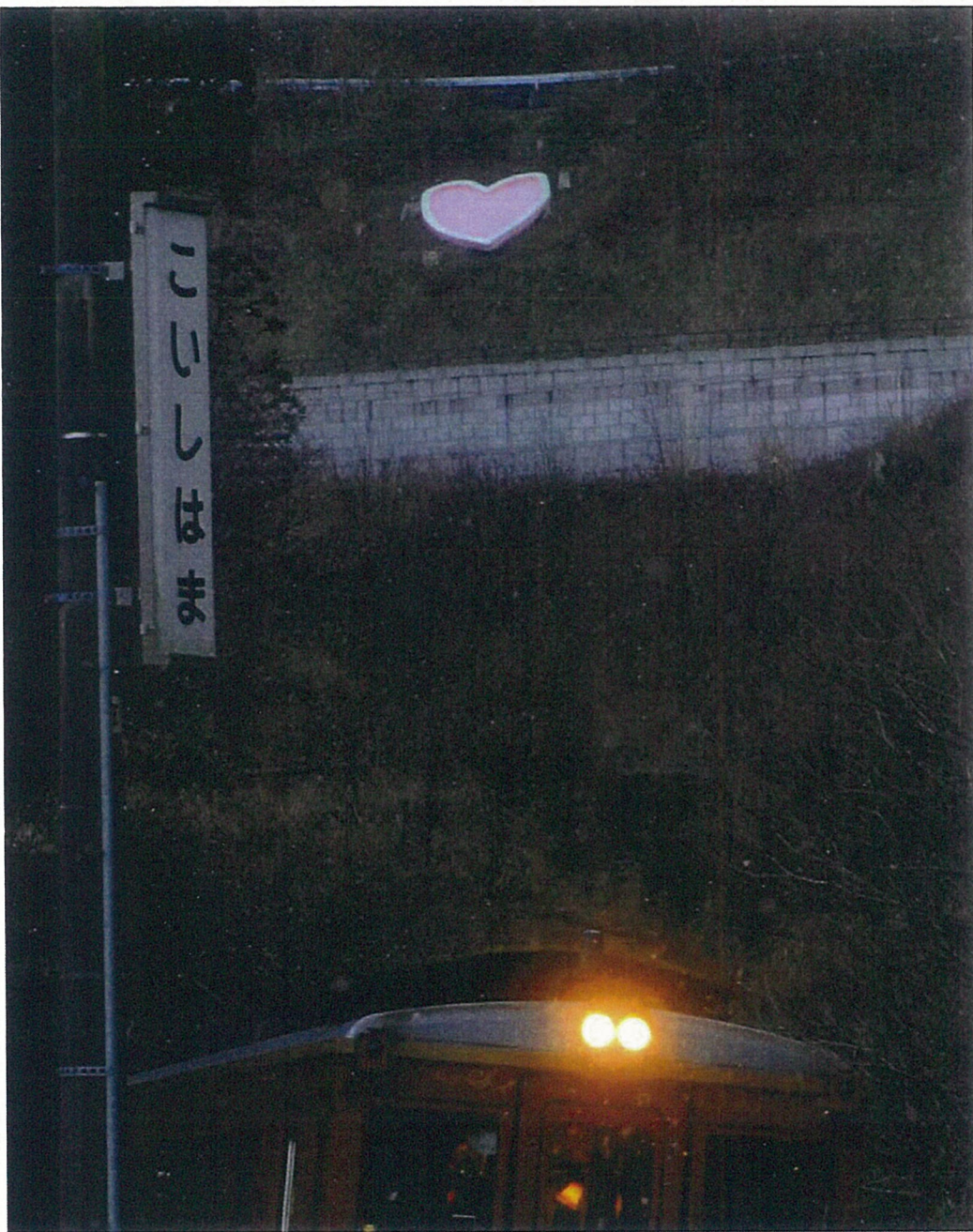
核兵器廃絶を国内外で

昼はピンク、夜は青く

高輝度蓄光
塗料推進協

ハートモニユメントに着色

小石浜



県内外の塗装業者や蓄光メーカーなどで行く光マーカーなどで行く

高輝度蓄光塗料推進協会

ハートモニユメントは

(一)関市、佐々木謙一(会

平成29年3月、旧県道9

長)は、大船渡市三陸町

号の恋し浜トンネルの完

成に合せて県が設置し

た。縦約8m、横約7m

ネルそばののり面に設置

のコンクリート製で、今

されている「恋し浜ハ

年9月に同県道と共に市

トモニユメント」に特殊

に移管された。

塗料を施した。日中はピ

11月に同協会が中心と

ンク色、夜間は縁がほの

なってコンクリート用の

かに青く光って見え、恋

ピンク色の塗料を塗り、

愛運アップや縁結びのパ

縁は太陽などの光エネル

ワースポットとして知ら

ギーを吸収し、電源がな

れる「恋し浜」の誘客効

くても発光できる「蓄光

果が期待される。

塗料」で着色。縁は24

三陸鉄道恋し浜駅で26

時間光り、同駅のホーム

日、同協会や市、三陸鉄

などから日中はピンク

道の関係者ら10人ほどが

色、夜は縁がかすかに青

出席して特殊塗料寄贈式

く輝いて見える。

が行われた。佐々木会長

モニユメントの着色は

は「旅する方々、恋愛成

同協会の佐々木会長が今

就を願う人たちの一役を

年秋、地元の小石浜養殖

担えれば幸いだ」とあい

組合の佐々木淳さん(49)

さつした。

と海上で夜間も船から見

戸田公明市長は「特殊

えるように浮き球に蓄光

な塗料を施工していただ

剤を塗る試験を行ったの

き、ありがとございます

がきっかけ。淳さんから

す。愛が詰まったロマン

「ハートも光らせたい」

チックな恋し浜駅的印象

どの要望を受け、佐々木

………

会長らが「淳さんの地元

塗料で着色されたハ

愛に込めたい」と実現し

トモニユメント。日

た。

中はピンク色、夜は縁

がほのかに光る